



Japan Ready-made Meal Association

## News & Information

発信元：一般社団法人 日本惣菜協会  
 東京都千代田区平河町 1-3-13 平河町フロントビル 2F  
 TEL:03-6272-8515 FAX:03-6272-8518

2026年4月14日発信

### 2025年惣菜市場規模 前年比 3.7%増 11兆7,075億円

一般社団法人日本惣菜協会（会長：平井浩一郎）は、毎年調査している中食・惣菜業界の国内市場について、**2025年惣菜市場規模を前年対比103.7%、11兆7,075億円**と算出した。（調査対象期間は2025年1月から12月）

#### 【業態別市場規模】

単位：十億円、%

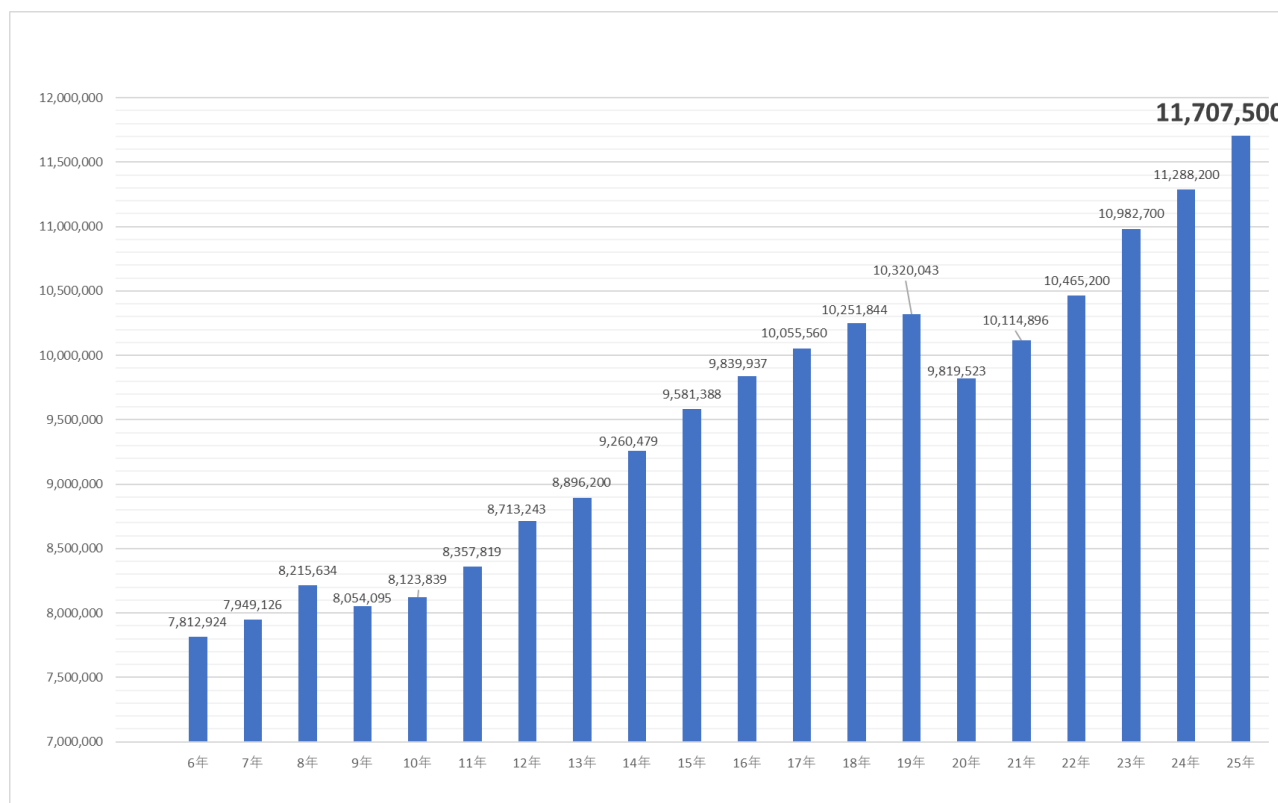
業態	2023年		2024年			2025年		
		構成比		構成比	前年比		構成比	前年比
惣菜専門店	2,942.6	26.8	3,072.7	27.2	104.4	3,202.0	27.4	104.2
百貨店	343.1	3.1	340.0	3.0	99.1	337.5	2.9	99.3
総合スーパー	975.4	8.9	966.3	8.6	99.1	1,011.3	8.6	104.7
食料品スーパー	3,258.6	29.7	3,385.5	30.0	103.9	3,552.2	30.3	104.9
CVS	3,463.1	31.5	3,523.6	31.2	101.7	3,604.4	30.8	102.3
合計	10,982.7	100.0	11,288.2	100.0	102.8	11,707.5	100.0	103.7

業態別に見ると、CVSが3兆6,044億円（構成比30.8%）と継続的に大きな市場規模を維持してきたが、伸び率は低迷している。一方で、食料品スーパーが104.9%、総合スーパーが104.7%と、スーパーマーケット業態が拡大し、市場をけん引した。惣菜専門店も3兆2,020億円、104.2%と着実に成長している。

2025年の惣菜市場は、原材料価格や人件費の上昇、物流コストの増加など厳しい経営環境が続いたものの、新商品や商品規格の見直しとともに価格の見直しが進み、堅調に推移した。背景には、単身世帯や共働き世帯の増加、高齢化など、生活スタイルの変化にとともない、調理の手間を省きつつも食事の質を求める消費者ニーズが根強く、即食性や利便性に優れた惣菜・中食への需要は引き続き高い。加えて、コメや生鮮三品の価格上昇などから、特に少人数世帯では、作るよりも惣菜を買う方が無駄がないことも評価されたとみている。

2006年からの20年間で、惣菜市場は149%拡大している。リーマンショックやコロナによる外出自粛など、日本全体の景気低迷時期をのぞいては、右肩上がりに成長してきた。人口減少・少子高齢化などの影響で、国内の内需型産業はほとんどの市場が軟調にある中で、惣菜・中食市場が成長を続けているのは、消費者の生活スタイルや価値観の変化を的確に捉え、利便性や即食性に加えて、味や品質、安全・安心といった付加価値の向上に事業者が継続的に取り組んできた結果といえる。今後も、変化する社会環境や消費者ニーズを背景に、惣菜・中食は日常の食卓を支える重要な役割を担いながら、引き続き着実な成長が期待される。

## 【2006年からの惣菜市場規模推移】



なお、2025年惣菜市場の詳細が掲載される「2026年版惣菜白書」は6月1日に発刊する。

※この件に関する問い合わせ先

一般社団法人 日本惣菜協会 担当：白壁・高橋

TEL:03-6272-8515 FAX:03-6272-8518 E-mail: souzai-info@nsouzai-kyoukai.or.jp